

リニアック 本格稼働

製鉄記念室蘭

室蘭市の製鉄記念室蘭病院（松木高雪理事長、前田征洋院長・347床）は、「がん診療センター」開設に伴い、リニアックⅡ写真Ⅱの本格稼働を開始した。

放射線治療装置は昨年10月に導入、これまでにテストラン等を行い、体制を整えてきた。

昨年9月30日にオープンした同センターはPET・CT検査室、RI検査室などを備え、外来化学療法センターはベッドを10床から25床に増床。

今回のリニアック稼働で、がんの3大標準療法である、外科療法、化学療法、放射線療法が可能となり、同病院では「地域完結を目指すがん治療体制に大きく貢献できる」としている。

